



奨学金制度のご案内

当院では、看護師・助産師・保健師養成学校に入学を予定される方、在学中の方で卒業後に当院で働くことを希望される方を対象に、奨学金制度を設けております。是非この制度を利用し、自分の看護師になるという夢をかなえてみませんか。また、お知り合いの方で奨学金制度の利用をご希望の方がおみえになりましたら、是非ご紹介ください。

お気軽にお問い合せください。

(058) 388 - 0111 (代)
E-mail jinji@matsunami-hsp.or.jp 担当：人事部 林



講習会・イベントのご案内

第62回開放型 病床カンファレンス

医療関係者向け

日時 3月17日(木) 18:00~
場所 3階講堂
テーマ 『抗菌薬はじめの一步 基本から応用へ』
講師 自治医科大学 感染症科 准教授 矢野 晴美先生

第7回 岐阜南NST研究会

医療関係者向け

NST活動を院内および地域に広げるため、岐阜南NST研究会を下記の通り開催致しますので、ぜひご参加下さい。
日時 3月30日(水)18:30~20:00
場所 3階講堂
特別講演 『がん患者と栄養管理』
講師 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 代謝栄養学分野 教授 中屋 豊先生

かかりつけ医院のご紹介



羽島郡 笠松町の 片山クリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	○	○	○	—	○	△
午後 3:30~6:30	○	○	○	—	○	—

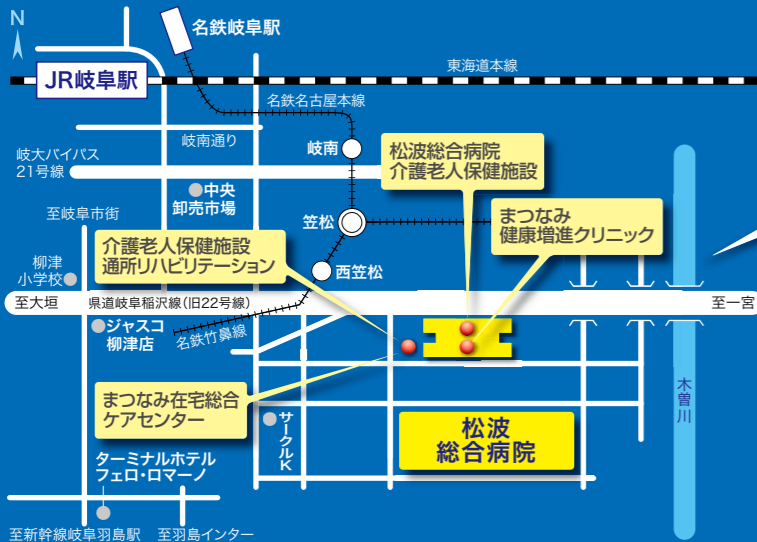
△:午前9:00~午後1:00 ○:診療日 一:休診

呼吸器科 内科 外科
リハビリ科 小児科

休診日 日曜日・祝日・木曜日
〒01-6062
岐阜県羽島郡笠松町代字
若宮1098-1
☎ 058-388-8700
FAX 058-388-8701

院長：片山 良彦

当クリニックは、松波総合病院と連携し、より良い地域医療をめざしております。本年2月より羽島郡でHibワクチン、小児肺炎球菌ワクチン、子宮頸癌ワクチンが公費で接種可能となりました。お気軽にご相談してください。



お気軽にお問い合せください。

☎ 058-388-0111
http://www.matsunami-hsp.or.jp/



当院は、病院内・敷地内
全面禁煙です。
皆様方のご理解とご協力
をお願いします。

社会医療法人 蘇西厚生会
松波総合病院 〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町代185-1

患者さまと
病院をつなぐ
かけはし
No.137
MATSUNAMI

まつなみ

2011
3
発行
社会医療法人
蘇西厚生会

医療最前線 命を支える最新医療

身体にやさしい放射線治療

手術、抗がん剤とともに、がん治療の3本柱として欠かせない放射線治療。近年の医療技術やIT技術の進歩とともに急速な進化をとげ、治療を受ける患者さんの数は急速に増えています。



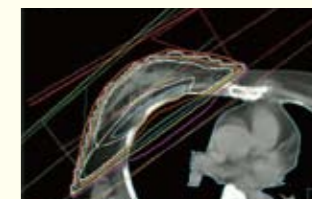
放射線治療医
佐藤 義高



音楽が静かに流れる治療室。治療は数分間、治療台の上に寝ているだけなので身体への負担は軽く、痛みも感じません。

実際にどんな治療をするのですか？

- ① 患者さんの状態や腫瘍の状態などを確認するため、CT撮影を行います。
- ② CTで得られた画像をもとに、どの方向から、どのように、どのくらい放射線を照射するのか、患者さんにとって最適な治療プランを立てます。
- ③ 治療プランに基づき、治療したい病変部に放射線を照射します。治療は1日1回で、1人あたりの照射時間は数分です。治療の回数、期間は病態によって異なります。



できるだけ腫瘍部分に放射線が集中して、周囲の正常組織にはかからないよう、コンピュータを使って、放射線を照射する範囲や場所、位置などを設定します。

放射線治療とは？

放射線は目に見えず、体にあたっても何も感じませんが、がん細胞を死滅させる作用をもっています。放射線の照射によって正常細胞も傷を受けますが、放射線による正常細胞の傷はがん細胞より回復しやすいため、周囲の正常組織のダメージを最小限に抑えながら、治療効果を得ることができます。加えて、現在の放射線治療は、治療技術や機器の進歩により、ほとんど正常細胞に影響を与えずに、がん細胞だけを狙って治療できるようになっています。

放射線治療は、根治治療から緩和治療まで幅広い役割を担っています。

放射線は単独でがんを治す場合もありますし、手術や抗がん剤を組み合わせ、よりよい治療結果が得られる場合もあります。例えば乳がんでは、手術後に放射線を照射して再発を予防し、高い効果を得ています。また、骨転移による痛み、脳転移による神経症状など、がんによって起こる苦痛を和らげる効果もあります(緩和治療)

放射線治療のメリット

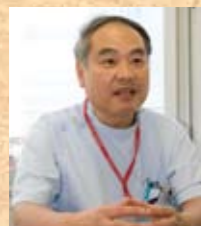
体を切らずに、がん病巣だけを狙って治療するので体の形体や機能を残したまま治療ができること。他の治療にくらべて副作用も少なく、治療中の痛みもないので、身体的な負担が軽い治療法といえます。また、放射線治療の時間も短く、日常生活を送りながら通院で治療することが可能です。

医師、放射線技師、 看護師がチームを 組んで治療を行います。



- 放射線治療医
個々の患者さんに最適な治療プランを決定します。照射期間中は定期的な診察を行い、病気の状態や副作用の有無を確認します。
- 診療放射線技師
放射線治療医によって決定された治療方針に従って、治療部位へ放射線を照射します。治療に際しては必ず2人の技師が組み、ダブルチェックで装置の安全性や精度を確認します。
- 看護師
患者さんに安心して治療を受けていただくよう、放射線治療の説明をしたり、治療期間中の副作用などにも対応します。どんなことでもお気軽にご相談ください。

「こんにちは、回復期リハビリテーション病棟です。」
集中的なリハビリ医療で、一日も早い家庭復帰を応援します。



看護師長 狩野 雅道



機能回復、寝たきり防止、家庭復帰を目的に、真心をこめたりハビリを提供しています。

回復期リハビリテーション病棟とは？

脳血管疾患(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など)や大腿骨骨折などの後遺症で、そのままではご自宅や職場への復帰が難しい患者さんに対し、急性期終了後に集中的かつ効率的なリハビリ治療を行い、早期の家庭復帰、社会復帰を支援する専門病棟です。

また、ご家族への介助方法の指導や住宅改修や環境設定などのアドバイス、介護サービス施設などの情報提供を行い、退院後もより良い家庭生活を送っていただけるよう支援しています。

チームの総合力で、患者さんの家庭復帰を応援します。

当院のリハビリ病棟は55床。患者さん一人ひとりの状態に合わせたリハビリプログラムを、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ソーシャルワーカーなど、各分野の専門スタッフが協同して作成し、機能回復のための



笑顔とチームワークを大切に、楽しく働いています！

訓練を行っています。また、回復期スタッフ協同で定期的にカンファレンスを開き、常に患者さんにとって最善の治療を検討しています。

入院生活そのものがリハビリです。

朝起きて顔を洗う、食事をする、トイレに行く、廊下を歩くなど、病院での生活すべてが社会復帰のためのリハビリです。当病棟では、患者さんが日常生活を可能な限り自分の力でできるよう、回復期スタッフ全員でサポートしています。



病棟でのリハビリ風景

「できた喜び」、「できる喜び」を一緒に味わいましょう！

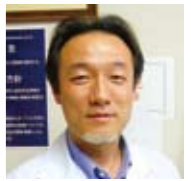
少しずつでも手足が動かせるようになった、少しずつでも言葉が話せるようになったなど、患者さんがリハビリによって元気や明るさを取り戻していく姿をみるのが、私たちスタッフにとっても何よりの喜び。これからも、皆さんの前向きな思いを全力でサポートしますので、一緒にがんばりましょう。

貧血

産婦人科医がよく遭遇する貧血は鉄欠乏性貧血です。主なる鉄欠乏の原因は、食事からの摂取不足、成長期における需要の増大、出血や生理などによる過剰な喪失などがあります。臨床的には「過多月経」などによる過剰な喪失が大部分を占めています。一般的な貧血症状は、動悸・息切れ・疲れやすい・頭痛などがありますが、多くの鉄欠乏性貧血は徐々に進行するため、体のほうが貧血状態に適応してしまい、貧血が進んでいるのに自覚症状に乏しいか、全く欠落していることすらあります。そのため、健診などの採血機会に偶然発見されることもまれではありません。「あなたの月経は多くない?大丈夫?」と聞かれても、自分の月経量が正常なのか?多いのか?を判断することは困難です。このため他人と比較するのではなく、最近生理用ナプキンの交換回数が増えていないか、塊として排出される出血が多くなっていないかなど、以前の自分と比較してみても良いでしょう。「過多月経」の原因として最も多い疾患は子宮筋腫であり、最近では経膈超音波検査により容易で確実な診断が可能ですので、子宮がん検診とともに定期的に検査を受けることをお勧めします。

産婦人科部長 高木 博

専門分野：周産期・腫瘍・内分泌・腔式手術
 認定資格：日本産婦人科学会：専門医
 母体保護指定医
 日本がん治療認定医機構：暫定教育医



1人前
410 kcal



戸崎管理栄養士が
お届けする

体にeヘルシーレシピ

牡蠣とほうれん草のグラタン

- <材料・2人前>
- 牡蠣…………… 160g
 - ほうれん草 …… 60g
 - ベーコン …… 30g
 - 人参…………… 40g
 - 玉ねぎ………… 40g
 - にんにく …… 1片分
 - 小麦粉…………… 少々
 - 塩・コショウ …… 少々
 - オリーブ油 …… 適宜
 - 牛乳…………… 大さじ3
 - ホワイトソース(缶) 200g
 - とろけるチーズ …… 30g
 - パン粉…………… 2g

<作り方>

- ①牡蠣は洗いペーパータオルで水気をとる。表面に小麦粉をまぶしオリーブ油をひいたフライパンでこんがり焼きバットにとる。
- ②ほうれん草は塩水でさっとゆで3cmくらいの長さに切る。
- ③フライパンにオリーブ油とみじん切りにしたにんにくを熱し、1cmに切ったベーコン、細切りにした人参と玉ねぎを炒め塩・コショウで味をととのえる。
- ④③に牛乳、ホワイトソースを入れ混ぜ、とろりとしたところに牡蠣とほうれん草を入れさっくりと混ぜ合わせる。
- ⑤グラタン皿に④を入れとろけるチーズとパン粉を上からかけ、オーブントースターで10分ほど焼く。表面にこんがり焼き色がいたらできあがり。

！ここがヘルシーポイント！

不足すると貧血症状をおこすヘモグロビンは、鉄とたんぱく質できていますので、この2つの栄養素を同時にとることがポイントです。今回の料理では、鉄分やミネラル類、たんぱく質を多く含む牡蠣と、鉄の吸収を促すビタミンCを多く含むほうれん草を使用しました。鉄は胃腸が丈夫でないと吸収されにくいので、胃腸を健康にする事も貧血予防と治療には欠かせないことです。

くすりのお話し



「治す薬」と「管理する薬」

薬には「治す薬」と「管理する薬」があるのはご存じですか。「治す薬」というのは風邪薬や痛み止めなど、症状を「治す」ための薬です。このような薬の多くは飲みきりで終わったり、短期間服用して症状がなくなればやめることができます。例えば今の季節よく処方されるインフルエンザのお薬は「治す」ための薬です。症状がよくなって処方された期間きちんと飲みましょう。

しかし、大切なのは「管理する薬」です。血糖値や血圧などを「管理する」ためのお薬がこちらに分類されます。「管理する薬」は多少飲まなくても実際の症状は自覚しにくいので、一度処方を受けても飲まずに自己判断で中止してしまうことも少なくありません。「症状がないから飲むのをやめた」や「検査値が良くなってきたからやめた」という自己中断をせずにきちんと継続して、上手に「管理」していきましょう。